



おいしく たのしく すこやかに



森永製菓株式会社 NEWS RELEASE

2026年6月1日

「生物学的年齢はデザインできる」社会へ。 「ASAGI Labs ロンジェビティ・コンソーシアム」に森永製菓が参画

森永製菓株式会社（東京都港区芝浦、代表取締役社長 COO・森 信也）は、一般財団法人 ASAGI Labs（代表理事：早野元詞）が設立する「ASAGI Labs ロンジェビティ・コンソーシアム（英文名：ASAGI Labs Longevity Consortium）」に参画します。

「ASAGI Labs ロンジェビティ・コンソーシアム」は、一般財団法人 ASAGI Labs が設立した、産官学金の多様なステークホルダーが連携し、全世代を視野に入れたロンジェビティ（健康寿命の延伸と持続可能な社会参加）に関する研究開発と新規事業の共創を推進するコンソーシアムで、2026年6月1日より本格活動を開始します。

本コンソーシアムは、老化研究の進展、AI によるマルチモーダル情報の統合、そして「人生のマルチステージ化」を背景に、個人のナラティブ（物語）を起点とした人生設計と社会全体のウェルビーイングを両立させる新しい社会モデルの構築を目指しています。

「ASAGI Labs ロンジェビティ・コンソーシアム」WEB サイト：<https://www.asagiconsortium.com/>

森永製菓株式会社は、機能性関与成分として「ピセアタンノール^{※1}」の研究開発を進めております。当社では2030年に向けたビジョンとして、心・体・環境の健康を、顧客・従業員・社会へ提供し続ける「ウェルネスカンパニーへ生まれ変わる」ことを掲げています。そのなかで、ピセアタンノールは、ヒトにおいてサーチュイン遺伝子^{※2}の発現を増加させることが分かっており^{※3}、老化に関わる様々な影響を与える成分のひとつです。

当社は、本コンソーシアムにおいて、自社が有するピセアタンノールをはじめとする研究開発シーズの社会実装を推進し、科学的根拠に基づいた「生物学的な年齢はデザインできる」社会へ、を目指していきます。

※1 ピセアタンノールは、パッションフルーツ種子に含まれるポリフェノール成分で、ヒトが経口摂取した場合の保健機能が複数報告されています。

※2 「長寿遺伝子」「抗老化遺伝子」と呼ばれる、アンチエイジングや寿命延伸に重要な遺伝子

※3 Life 14, 589 (2024)